



報道機関各位

熊本大学

第3回熊本大学沿岸域環境拠点研究グループ シンポジウム  
～熊本県沿岸域の防災と環境再生に向けて～ を開催します

熊本大学沿岸域環境科学教育センター、理学部、工学部、文学部の教員が協力して、「沿岸海域の豊かな社会環境創生」を目指す研究拠点が設置され、2008年度から有明海、八代海および東アジアの沿岸環境の研究を始めました。防災と環境再生が調和した社会環境の創成を目指して研究を行っています。市民の皆様はこの拠点の研究内容をご紹介するために、昨年に引き続き、第3回シンポジウムを開催します。

ついては広く市民の皆様へお知らせいただくとともに、当日の取材方よろしくお願いたします。

【日 時】平成23年12月10日（土）13:00～17:00

【場 所】熊本県民交流会館パレア・9階・会議室1（熊本市手取本町8番9号）

【定 員】100名

【参加費】無料（事前申し込みは不要です）

【プログラム】別紙参照

【主 催】

熊本大学拠点研究B

「閉鎖性沿岸海域における環境と防災、豊かな社会環境創生のための先端科学研究・教育の拠点形成」

【問い合わせ先】

〒860-8555

熊本市黒髪2-39-1

熊本大学大学院自然科学研究科

森村 茂

TEL. 096-342-3669（直通） FAX. 096-342-3669

E-mail: morimura@kumamoto-u.ac.jp

# 第3回熊本大学沿岸環境拠点研究グループ シンポジウム

～熊本県沿岸域の防災と環境再生に向けて～

●日時：12月10日（土） 13:00 - 17:00

●場所：熊本県民交流会館パレア・9階・会議室1

●定員：100名

●参加費：無料（事前申し込みは不要です）

●プログラム：

13:00 - 13:05 開会の挨拶

13:05 - 14:05 熊本県沿岸海域の海象災害（高潮・高波・津波）への  
防災・減災、そして環境との調和

滝川 清 教授（沿岸域環境科学教育研究センター）

14:05 - 14:25 八代海における底質特性とその時系列変化

増田龍哉 特任助教（大学院先導機構）

14:25 - 14:45 水俣湾における音響機器による地形・底質調査の成果

秋元和實 准教授（沿岸域環境科学教育研究センター）

14:45 - 15:05 古写真にみる生活文化の変容

岩崎竹彦 准教授（五高記念館）

～15:05 - 15:15 休憩～

15:15 - 15:35 八代海沿岸における人工化学物質の存在と濃度分布

中田晴彦 准教授（大学院自然科学研究科）

15:35 - 15:55 ハマグリの資源回復に向けた取り組み

逸見泰久 教授（沿岸域環境科学教育研究センター）

15:55 - 16:15 八代海湾奥部における小型底生生物群集の動態と

環境要因との関連性

嶋永元裕 准教授（沿岸域環境科学教育研究センター）

16:15 - 16:35 海藻付着細菌の群集構造解析と藻場消失の要因分析

滝尾 進 教授（沿岸域環境科学教育研究センター）

16:35 - 16:55 微生物から見た八代海湾奥部の底質環境

森村 茂 准教授（大学院自然科学研究科）

16:55 - 17:00 閉会の挨拶

主催：熊本大学拠点研究B「閉鎖性沿岸海域における環境と防災、豊かな  
社会環境創生のための先端科学研究・教育の拠点形成」

【問合せ先】 〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1

熊本大学大学院自然科学研究科 森村 茂

TEL&FAX 096-342-3669 E-mail: morimura@kumamoto-u.ac.jp